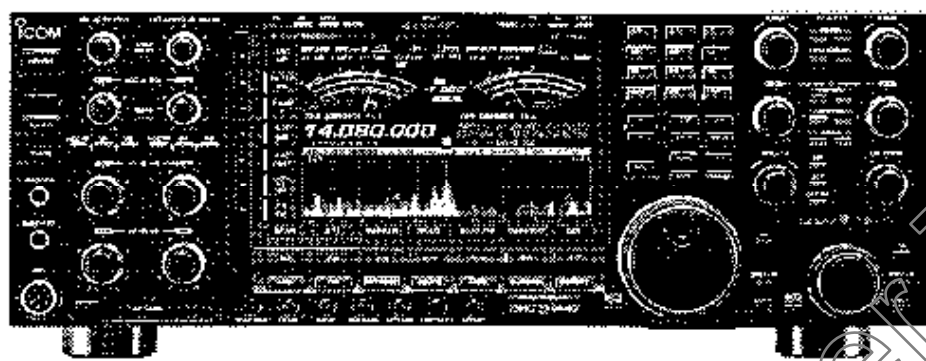


ハムが待った最高級機

アイコム | IC-7800 登場

2波受信機能を搭載

【大阪】無線通信機大手のアイコム（本社・大阪市、井上徳造社長）は、アマチュア無線家が長年



アイコムの最高級機

IC-7800

待ち望んだ最高級機「IC-7800」を、10月以降年内をめどに発売す

る。市場での要望が強いことから、88年に発売された「IC-7800」の後継機として集大成した「アナログとデジタル技術を搭載し登場する

同機は、+40dBmの第3次インターセプトポイントを実現した。従来機の+23dBmとの差が50倍というIP3値をマーク。これにより、微弱な信号もはっきり聞き取れるなど受信性能が格段にアップした。また、32ビット浮動小数点DSPを、受信用のメインとサブ、送信用、バンドスコープ用の4つと24ビットAD/DACコンバータを搭載、4つ

のDSP能力をフルに發揮できる。

さらに、業界初の完全独立した2波受信「デュアルワッチ」は、異なるバンド、異なるモードでの2波同時受信を可能にしている。そのほか、OCXOの標準装備やスペクトラムスコープ専用のDSPの搭載により、精密測電器の精度を誇る周波数安定度±0.05ppmの実現と広帯域にわたる信号解析を可能にしている。

本体表示部は7色のカラー液晶。メモリーカードのコンパクトフラッシュでさまざまな設定が登録でき、ソフトのバージョンアップも可能になるという。サイズは、幅424mm×高さ150mm、奥行420mm、重さ約23kg。価格は100万円前後になる見通し。

NEON